

技術・家庭科（家庭分野） 学習案内

家庭分野の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。

評価の観点および規準

【知識・技能】

家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考・判断・表現】

家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。

【主体的に学習に取り組む態度】

自分と家族、家庭生活と地域とのかかわりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

評価の方法

【知識・技能】

定期試験の成果。提出課題の内容等。

生活の自立に向けて実践的な基本的技術が身に付いている。提出課題の内容等。

【思考・判断・表現】

生活におけるあらゆる課題において、よりよい解決をはかるための工夫ができる。
提出課題の内容等。

【主体的に学習に取り組む態度】

ワークノート・プリント・課題の提出、授業態度等。

技術・家庭科（家庭分野） 1 学年 学習内容

題材名	学習内容
＜家庭科分野のガイダンス＞	小学校までの学習をふまえ、中学校での学習の見通しを立てるため、自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて学習する。
＜衣服の選択と手入れ＞	① どうして衣服を着るのだろう ② 私らしさとT.P.O. ～着方の工夫～ ③ 日本の衣文化 ④ 衣服計画と必要な衣服の選択 ⑤ 衣服の手入れ
＜生活を豊かにするために＞	① 作って楽しい布作品 ② 持続可能な衣生活を目指して
＜住まいの役割と安全な住まい方＞	① もしも住まいがなかったら ② 住まいと気候風土の関わり ③ 健康で快適な室内環境 ④ 家族の住まいを安全・安心に ⑤ 災害への対策 ⑥ 持続可能な住生活を目指して
＜私たちの消費生活＞	① 消費者としての自覚 ② 購入方法と支払い方法 ③ バランス良く計画的な金銭の管理 ④ 消費者トラブルとその対策